

便る

人ヲ便ル

足りる

足す

たるむ(弛)

糸ガタルム

垂れる

違ふ

縮まる

縮める

散る

搦む

盡さる

突く

搗く

作る

繕ふ

續く

包む

繋ぐ

潰れる

潰す

躓く

積む

詰める

釣る

釣るす

答める

解く

研ぐ

溶ける

溶かす

滯る

飛ぶ

通る

泊まる

止める

點すトキ

火ヲ點ス

吃る

取る

眺める

流れる

泣く

鳴く

慰める

馴じむ

懐く <small>ナツク</small>	母ニ懐ク	撫てる	なぶる(嘲弄)	直る	直す	癒る <small>ナホ</small>	怠ける <small>ナマ</small>	訛る	嘗める	習ふ	並ぶ	並べる	馴れる
-----------------------	------	-----	---------	----	----	----------------------	-----------------------	----	-----	----	----	-----	-----

賑ふ	握る	悪む	濁る	荷ふ	匂ふ	にらむ(白眼)	似る	煮る					
----	----	----	----	----	----	---------	----	----	--	--	--	--	--

抜く

脱ぐ

盗む

縫ふ

塗る

濡れる

願ふ

直切る

ねだる(強請)

捻ひねれる

捨る

粘ねる

寝惚ける

狙ふ

寝る

練る

残る

残す

退く

覗のぞく

望む

罵る

伸のびる

伸のばす

のぼせる(上氣)
登る
吞込む
道理ヲ吞込ム
飯ヲ吞込ム
飲む
乗る
載る
載せる
這入る
計らふ

穿 ^ハ く
吐く
掃く
はぐれる
仲間ニハケレル
剥げる
剥ぐ
運ぶ
挟む
弾く
はじける(撥)
始まる
始める
奔る

端折る
はずむ(乗勢)
はぜる(爆)
はだかる(開)
はだける
刷く <small>ハシ</small>
障子ヲハタケ
働く
恥ぢる
はづれる(脱)
恥かむ <small>ハヅ</small>
跳る <small>ハネ</small>
箆める <small>ハシ</small>
囃す

人カモテハヤス
大鼓テハヤス
流行る
生える
草が生エタ
髯が生エタ
拂ふ
孕む
張る
腫れる <small>ハ</small>
晴れる

引く	挽く	歪む <small>ヒヤム</small>	浸す	捻ねる <small>ヒ</small>	響く	痿む <small>ヒルム</small>	拾ふ			蒸かす <small>フ</small>	吹く
----	----	-----------------------	----	----------------------	----	-----------------------	----	--	--	----------------------	----

振る	殖 <small>ウ</small> える	踏む	ふぞける <small>(戯)</small>	穴ヲ塞グ	氣が塞グ	塞ぐ	脹 <small>フ</small> れる	含む	蒼く	拭く	火ヲ吹ク	風が吹ク
----	-----------------------	----	-------------------------	------	------	----	-----------------------	----	----	----	------	------

降るフ

震ふ

隔たる

諂らふ

減る

減らす

ぼかす

色ヲホカス

惚けるホ

誇る

乾すホ

ほどける(解)

ほとる(熱)

顔がホトレ

褒める

吠える

堀る

設ける

任せる

曲がる

曲げる

紛れる
蒔く
捲くる
負ける
人三頁ケナイ
三錢ニ頁ケル
増す
交じる
交ぜる
跨る
跨く
招く
守る
廻る

磨く <small>磨</small>
質る
稲が質ル
見る
むく <small>(剝)</small>
貪る
笔 <small>ム</small> しる
毛ナムシル
蒸す

天気ガムス
飯チムス
噎 ^ム せる
結ぶ
恵む
もがく
悶える
もたれる(食滞)
持つ

鈍れる

もてなす

揉む

肩ヲ揉ム

氣ヲ揉ム

燃える

燃す

貰ふ

盛る

漏れる

休まる

休む
休める
痩せる
寝れる <small>ネ</small>
破れる
破る
行届く
護る
揺る
揺れる
弛す
緩む

氣が緩ム

糸がユルム

汚れるキス

汚す

呼ぶ

讀む

嫁ヨメる

燃ヒる

歡ぶ

弱る

離縁する

氣が緩ム
糸がユルム
汚れる <small>キス</small>
汚す
呼ぶ
讀む
嫁 <small>ヨメ</small> る
燃 <small>ヒ</small> る
歡ぶ
弱る
離縁する

動詞

別れる	湧く	分ける	忘れる	煩ふ	詫びる	割れる	割る	刻 <small>ツ</small> ぐる
-----	----	-----	-----	----	-----	-----	----	-----------------------

二〇六

拜む

教へる

踊る

終はる

終へる

居る

折れる

折る

動詞

--	--	--	--	--	--	--	--	--

二〇七

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

副詞

只今	始終	最早	後刻	先刻	此間	今度	旧頃	今頃	近頃	此頃	先頃
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

既に	遂に	直ぐに	直きに	急に	疾くに	俄かに	何時も	いつか	絶えず	緩くり	たまたまか	まだ	始めて
----	----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------	----	-----

應て

今

早く

遅く

暫く

ちよつと

漸く

追々

偶々

時々

度々

かねがね

とうく

やうく

やうく	とうく	かねがね	度々	時々	偶々	追々	漸く	ちよつと	暫く	遅く	早く	今	應て
-----	-----	------	----	----	----	----	----	------	----	----	----	---	----

廻 <small>マハリ</small> に	外に	内に	下に	上に	後に	前に	左の方に	右の方に	左に	右に				
------------------------	----	----	----	----	----	----	------	------	----	----	--	--	--	--

側 <small>ソバ</small> に	中 <small>ナカ</small> に	脇 <small>ワキ</small> に	隅 <small>カド</small> に	向 <small>ムカヒ</small> に	遙 <small>トホ</small> に	ぢか <small>チカ</small> に	倒 <small>サカサマ</small> 様に	反 <small>サカサマ</small> 對 <small>ゴ</small> に	次 <small>ツギ</small> に	次 <small>ツギ</small> 第 <small>ダイ</small> に	一 <small>イチ</small> 番 <small>バン</small> 初 <small>ハジメ</small> に	一 <small>イチ</small> 番 <small>バン</small> 終 <small>ハジメ</small> に	所 <small>トコロ</small> 々
-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	------------------------	-----------------------	------------------------	--------------------------	--	-----------------------	---	--	--	------------------------

ちよ

幾ら

幾らか

幾つ

十分に

十貳分に

皆

多分

大概

屹度

大方

萬一

到底

よもや

若し

よし

さぞ

定めし

まさか

確に

不圖	突然	折角	是非	存外	思ふ存分	思様 <small>オモヒサマ</small>	兎角	勿論	別段	丁寧	無駄に	有體に	一所に
----	----	----	----	----	------	-------------------------	----	----	----	----	-----	-----	-----

法外に

自然に

猶更

生憎アヤシ

矢張

思の外

殊の外

輒く

穩に

密に

靜に

切に

互に

懇に

懇に	互に	切に	靜に	密に	穩に	輒く	殊の外	思の外	矢張	生憎 <small>アヤシ</small>	猶更	自然に	法外に
----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	----	-----------------------	----	-----	-----

妄に
殊に
無暗に
やたらに
善い加減に
如何に
どうして
何故
却て
態と
うかと
うまくと
あつと
そつと

しぶく
むかへく
そろく
丙々
中々
散々
旁々
態々

接續詞

或は
若くは
又
又は
並に
然し
然し乍ら
然るに
けれども
さりながら
それゆゑ
それであるから

をトリヨ(鳥を)捕ル

は鳥ナ飼ハシ

膳ヲ入ラン

が花ニ咲イタ

のワタクシシ木ダ

ワタクシシ處

に山ニ登ツタ

を菓子ニ買ツタ

二、が、は、の等ノ從來ノ用法ト異ルモノ

が菓子ガ(を)喰ベタイ

オレガ(の)家デハ

の蚊ノ(が)食フ

鳥ノ(が)飛ビ居ル

三、豆爾遠波ヲ用非ズシテ言ヒアラハシタ

ルモノ

と傘○イフモノ

を下駄○買タ

鳥ガ餌○食ヒ居ル

四、分量、並列、比較、其他、諸種ノ事項ヲ言

ヒアラハスモノ

しか 三シカ喰ベナイ

ほか 是ホカナイ

ぎり 是ギリテ止メル

ばかり 私バカリ行ク

ぐらゐ 十錢グラ井

だけ 是ダケ買ツテ來イ

が 五錢ガ買ツテ

し 雨ハ降ルシ日ハ暮レルシ

たり 往ツタリ來タリ

も 是モ彼モ

でも 何デモ彼デモ

やら 何ヤラ彼ヤラ

と 梨ト栗ト

や：など 梨ヤ栗ナド

や 何ヤ彼ヤ

より 君ヨリ僕ノ方が

こそ 君コソ知ルマイガ

しも 誰シモサウダ

ばし 人ニバシ使ハレテ

猫バシ居ルカ

でも 僕デモ出來ル

でさへ 君デサヘソレダモノ

までも 君マデモソウカ

さへ 是サハ六カシイノニ

すら 行クノスラ出來ナイ

しき 是シキノコ

がな 何ガナ見セタイ

から 東京カラ來タ

今カラ行キマセウ

まで 何處マデ行クノカ

何カラ何マデ

など 僕ナドハ何ウデモヨイ

やら 誰ヤラサウ云ツタ

づつ ニツツヤル

ごと 箱ゴト貰フ

一人ゴトニ言付ケタ

ない

なるほど

は

はい

は

はい

ひい

う

う

はい

やい

ない
なるほど
は
はい
は
はい
ひい
う
う
はい
やい

あら

あれ

あらま

あや

あや

やい

やい

あら
あれ
あらま
あや
あや
やい
やい

動詞形容詞ノ活用形

一、四段活用

い、終止形、連躰形

押す

押す(人)

打つ

打つ(人)

言ふ

言ふ(時)

取る

取る(時)

ろ、連用形

押し破る

言ひ損ふ

読み返す

取り戻す

押して

行つて

読んで

取つて

二、上一段活用

ゝ、終止形、連躰形

着る

着る(物)
射る
射る(時)
見る
見る(人)
る、連用形
着なれる
似寄る
干上る
着て
似て
見て

三、下一段活用
ゝ、終止形、連躰形
蹴る
蹴る(時)
る、連用形
蹴殺す
蹴て
四、上二段活用
ゝ、終止形、連躰形

起く
起くる(時)
綻ぶ
綻ぶる(折)
報ゆ
報ゆる(人)
懲る
懲るる(時)
ろ、連用形
起き上る
落ち込む

綻び易し
下り始む
起きて
落ちて
綻びて
下りて
五、下二段活用
ゝ、終止形、連体形
助く

助くる(人)
捨つ
捨つる(時)
考ふ
考ふる(場合)
覺ゆ
覺ゆる(事)
枯る
枯るゝ(時)
植う
植うる(處)

ろ、連用形

受け取る
捨て置く
考へ損ふ
覺え易し
据ゑ置く
任せて
捨てて
真似て
考へて
覺えて
据ゑて

六、變格活用
い、終止形、連躰形
來る
來る(時)
爲る
爲る(者)
死ぬ
死ぬる(日)
有り
有る(者)

ろ、連用形

ろ、連用形
來にくし
爲善し
死に絶ゆ
有り餘る
來て
爲て
死んで
有つて
七、久活用
し、終止形、連躰形

善し
善き(事)
重し
重き(石)
ろ、連用形
善く見る
堅く結ぶ
重くて
深くて

入、志久活用
ゝ、終止形、連用形

嬉し
嬉しき(時)
涼し
涼しき(風)
ろ、連用形
面白く遊ぶ
涼しく吹く
悲しくて
恐しくて

る、連用形

捨てられます

來られます

勉強せられた

打たれて

來られて

勉強せられて

二、す、さす、せさす

し、終止形、連体形

打たす

打たする(者)

受けさす

受けさする(人)

着さす

着さする(時)

勉強せさす

勉強せさする(人)

る、連用形

打たせました

捨てさせます

羨させませう

運動せさせた

打たせて

捨てさせて

羨させて
運動せさせて
三、せらるゝ、させらるゝ、せさせらるゝ
い、終止形、連体形
打たせらる
打たせらるゝ(時)
受けさせらる
受けさせらるゝ(人)
運動せさせらる
運動せさせらるゝ(時)

ろ、連用形
打たせられた
受けさせられた
勉強せさせられた
押させられて
捨てさせられて
勉強せさせられて
四、ます
い、終止形、連体形
起ります
起ります(時)
参ります

参りまする(者)

ろ、連用形

落ちまして

死にまして

五、なざる

い、終止形、連用形

御覧なざる

御覧なざる(時)

御出なざる

御出なざる(日)

ろ、連用形

勉強なされます

御出なされます

御起なされて

御任なされて

時、法等ノ言ヒアラハシ方

一、過去ノ言ヒアラハシ方

打つた

蹴た

落ちた

枯れた

來た

爲た

死んだ

涼しかった

有りました

寂しうございました

二、未來ノ言ヒアラハシ方

讀まう

蹴よう

起きよう

來よう

爲よう

取られよう

有らう

寒からう

暑うござらうませう

薄うござらう

三、已了ノ言ヒアラハシ方

食つたてしまつた

枯れたてしまつた

四、繼續ノ言ヒアラハシ方

見てゐる

爲居る

來る

五、受動ノ言ヒアラハシ方

押される

來られる

死なれる

六、能動ノ言ヒアラハシ方

勝たれる

見られる

案じられる

思やられる

七、使役ノ言ヒアラハシ方

煮させる

受けさせる

來させる

八、被役ノ言ヒアラハシ方

打たせられる

起させられる

投げさせられる

九、打消ノ言ヒアラハシ方

押さなんずない

着なんずない

起なんずない

枯れなんずない

來なんずない

爲なんずない

死なんずない

涼しくない

有ませんず

打たなんだなかつた

來なんだなかつた

着ませなんだんでした

十、疑念、尋問、反語ノ言ヒアラハシ方

死ぬかしら

悪いかしらん

出来ますかしらん

行くか

起きるか

来るか

爲るか

死ぬか

有るものか

苦しいものか

出来るものですか

十一、推量、想像ノ言ヒアラハシ方

死んだらう

暑からう

御座いませう

行くらしい

有るらしい

落ちまい

来まい

爲まい

有るまい

出来ますまい

來さうだ
善さうだ

十二、條件、理由ノ言ヒアラハシ方

着れば
枯れば
蹴れば
來れば
爲れば
死にやば
善ければ

來ると
死ぬと
涼しと

押すならば
死ぬならば
恐しいならば

降つたらば
來たらば
死んだらば

善かつたらば

たら

降らうとも

善くとも

有つても

死んでも

善くても

降つたとて

たつて

死んだとて

たつて

善くたつて

任せたけれど

善いけれど

降るのに

死ぬのに

苦しむのに

降るので

爲るので

寂しむので

來るから

爲たから

十三、決意、斷定ノ言ヒアラハシ方

打たう

任せよう

爲よう

死なう

落ちるぞ

出來ますぞ

枯れるぜ

來るぜ

十四、希望、願望ノ言ヒアラハシ方

行きたい

見たい

御受下さう

御出下さう

十五、傳聞ノ言ヒアラハシ方

來るさうだ

善いさうだ

死んださうな
讀めるげな
行つたげな
歸つたとさ
終つたとよ
十六、命令ノ言ヒアラハシ方
打て
行け
押せ いよ
見 いよろ

起き いよろ
受け いよろ
來 いよな
爲 いよろな
御任な いよろ
御讀な いよろ
御出で
御見
御歸り
十七、禁止ノ言ヒアラハシ方
行くな
見るな

任せるな

爲るな

起きてはいけな

見てはいけませんぞ

爲てはなりませんぞ

御爲でない

十八、感情ヲアラハシ又ハ餘情ヲ残ス
言ヒアラハシ方

な

な

打つ

わ

わ

ね

ね

よ

御讀

な

よ

涼しい

な

な

わ

わ

わ

よ

寝るがいらのに

雨が降るのだものを

待遇上ノ諸種ノ言ヒアラハシ方

(代名詞ノ部参照)

一、本來尊敬ノ意ヲアラハスモノ

召上る

仰っしやる

二、上ニ語ヲ添ヘテ尊敬ノ意ヲアラハスモノ

ご盛

ご見物

おみ足

おみお髪ツシ

三、下ニ語ヲ添ヘテ尊敬ノ意ヲアラハ
スモノ

父さま

母さま

源どん

菊どん

………下さる

………遊ばす

………られる

………なされる

四、上下ニ語ヲ添ヘテ尊敬ノ意ヲアラ
ハスモノ

お菊さま

お雪さん

ご散歩遊ばす

お遊なさる

五、本来謙遜ノ意ヲアラハスモノ

あやぢ

参上

伺ふ

頂く

六、上ニ語ヲ添ヘテ謙遜ノ意ヲアラハ
スモノ

愚妻

お返事

七、下ニ語ヲ添ヘテ謙遜ノ意ヲアラハ
スモノ

……致す

……申す

八、本来驕傲ノ意ヲアラハスモノ

遣る

遣はす

九、下ニ語ヲ添ヘテ驕傲ノ意ヲアラハ
スモノ

見てやる

食って遣す

十、本来輕蔑罵詈ノ意ヲアラハスモノ

ちぢー

やつこ

野郎

馬鹿

十一、上ニ語ヲ添ヘテ輕蔑罵詈ノ意ヲ
アラハスモノ

くそ爺

なま意氣

薄野呂

こつけ婆々(佐賀)

十二、下ニ語ヲ添ヘテ輕蔑罵詈ノ意ヲ
アラハスモノ

太郎公

……やーがる

……くれる

……てけつかる

十三、上下ニ語ヲ添ヘテ輕蔑罵詈ノ意
ヲアラハスモノ

くそ爺め

なま意氣め

語詞ノ組立方

一、上ニ語音ヲ加フルモノ

どえららら(高山)

どど畜生(同)

ああろろ旨い(佐賀)

ああろろ言いふ(同)

二、中ニ語音ヲ加フルモノ

ひひよよここたん(秋田)

あありりんんこ(同)

だだままかかす

だだままくくららかかす

三、下ニ語音ヲ加フルモノ

ああちちややわわんんこ(秋田)

四、結合語ノ融合セルモノ

ぶぶっっ叩く

ぶぶんん擲ぐる

ひひんんむむくる

つつっっこころろばばす

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

二九五

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

二九四

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

明治三十七年十月二十日印刷
明治三十七年十月廿五日發行

定價金貳拾五錢

著作權所有 文 部 省



日本書籍株式會社

行 者 代 表 者 大 橋 新 太 郎

東京市日本橋區新右衛門町十六番地

印 刷 者 石 川 金 太 郎

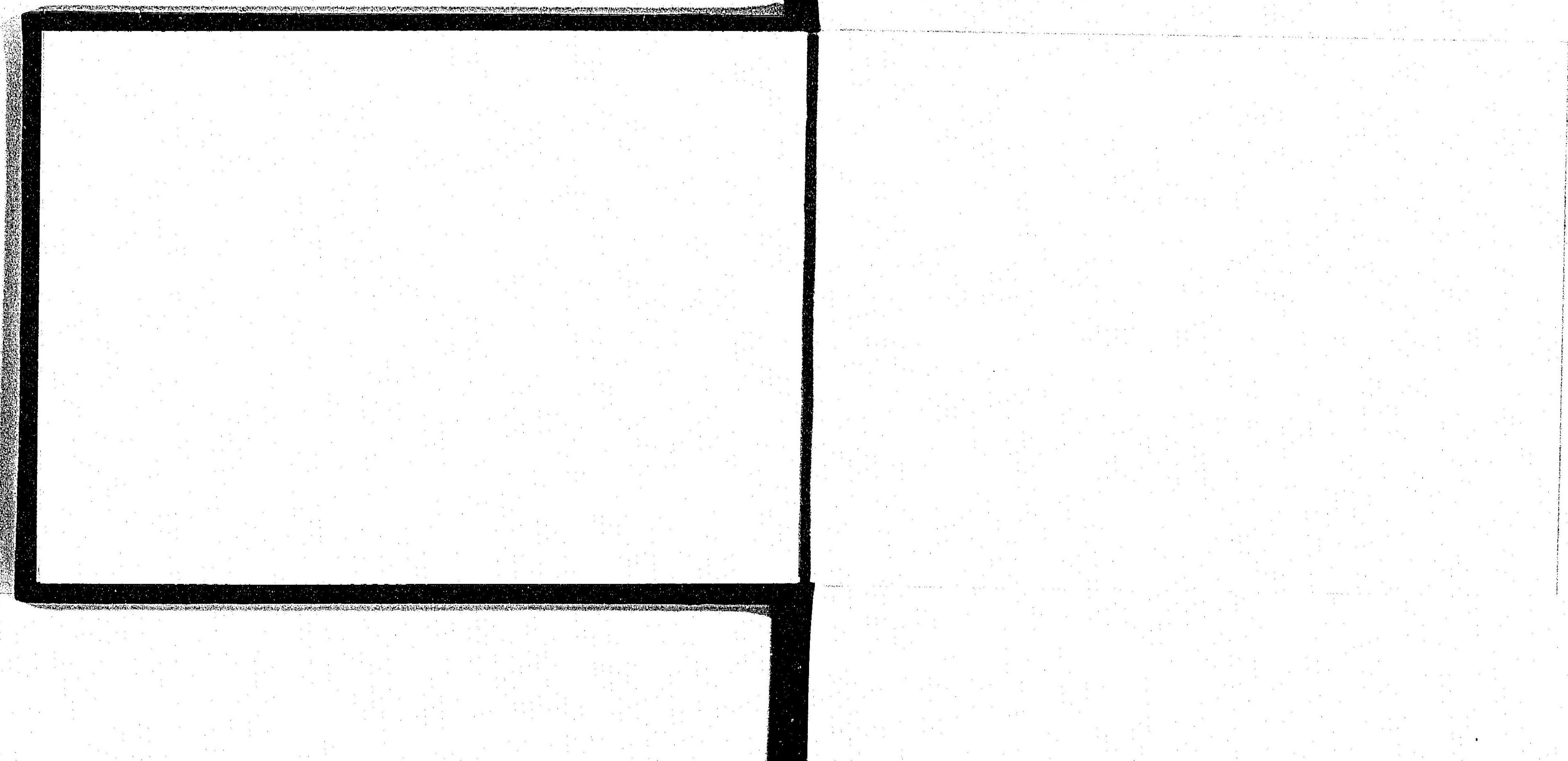
東京市京橋區西紺屋町二十六七番地

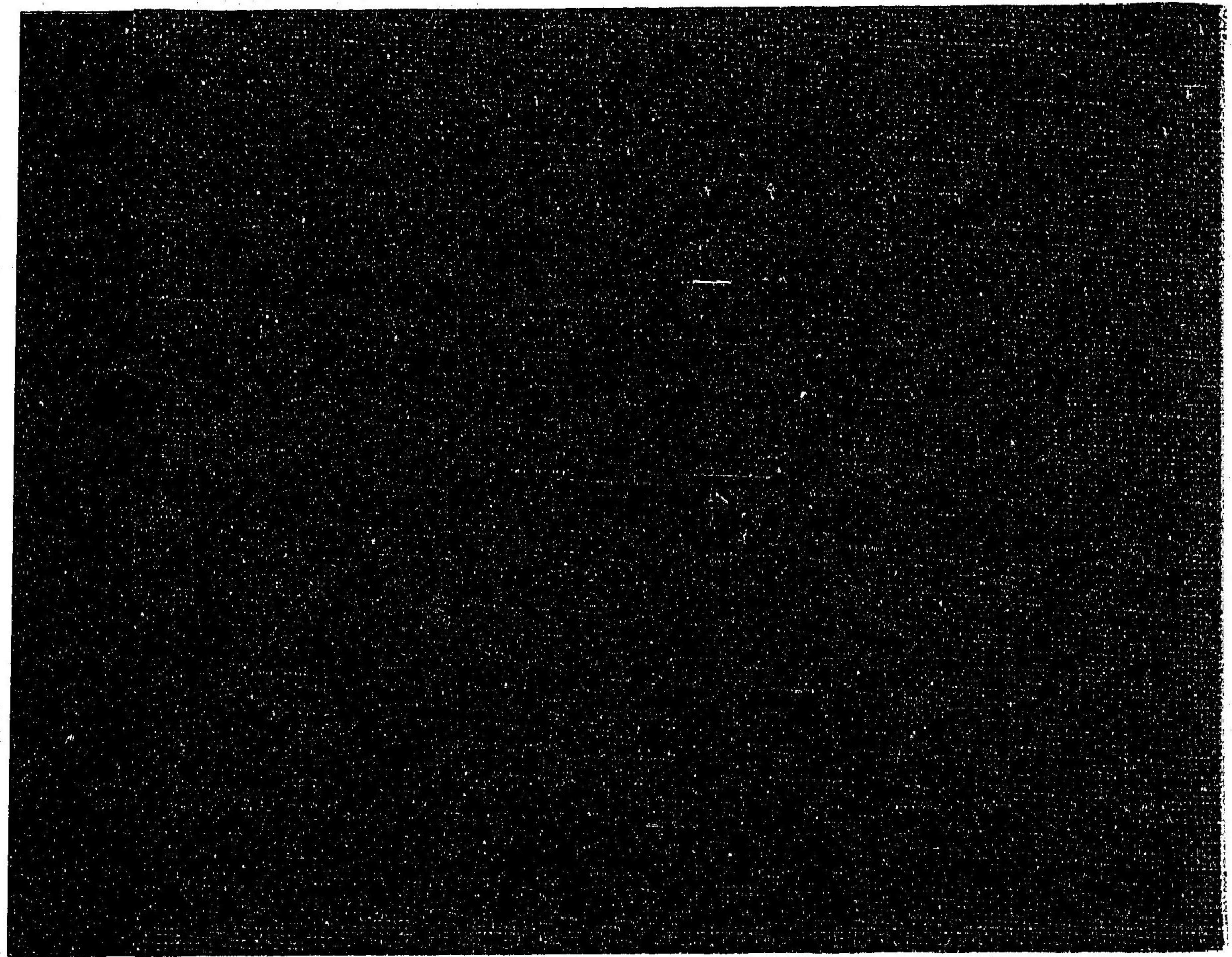
印 刷 所 株 式 會 社 秀 英 舍

東京市京橋區西紺屋町二十六七番地

發 行 所 東 京 市 日 本 橋 區 新 右 衛 門 町 十 六 番 地
日 本 書 籍 株 式 會 社

9S-76





818
ko547h

081988-000-6

818-Ko547h

方言採集簿

国語調査委員会

M37

DAC-6992

